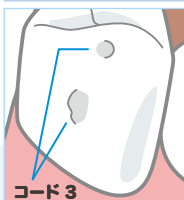
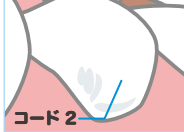
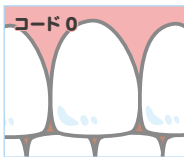


# むし歯(う蝕)の進行

むし歯(う蝕)とは、  
歯の硬組織の表面が細菌の酸産生により崩壊し、  
エナメル質やセメント質から象牙質へと進行し、  
実質欠損(穴)を形成する病気です。  
う蝕は以下のように進行しますが、  
早期に対応すれば進行を止めることができます。

進行停止・再石灰化可能



## ①健全な歯

歯に着色や摩耗(擦り減り)があっても実質欠損(穴)がなければ健全と判定します。

(コード 0)

## ②エナメル質の変化

歯を乾燥すると白い部分がある。

(コード 1)

歯が濡れた状態でも目で見える白い部分がある。

(コード 2)

## ③エナメル質の崩壊

エナメル質の一部に穴が空いたり欠けたりしている。

(コード 3)

## ④象牙質が黒く透けて見える

エナメル質は残っているが、象牙質が黒くなり、色が透けて見える。レントゲンでう蝕の広がりを確認する必要がある。

(コード 4)

## ⑤著明なう蝕

エナメル質が無くなり、象牙質が目で見える。

(コード 5)

大きく穴が空き象牙質が目で見える。

(コード 6)



Since 1921  
100 years of Quality in Dental

詳しくは当院の歯科医師・歯科衛生士に  
ご相談ください

監修:新潟大学医歯学総合病院 歯の診療室 野村由一郎、竹中彰治

検査受託:株式会社 ジーシー

お客様窓口 ☎0120-179418

受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祝日を除く)

※掲載の情報は2022年●月現在のものです。

3種類のむし歯菌が  
お口の中にどれくらいいるかわかります

## う蝕関連細菌検査

食後に必ず磨いているのにむし歯になる。

なぜ? 私の歯はむし歯になりやすいの?

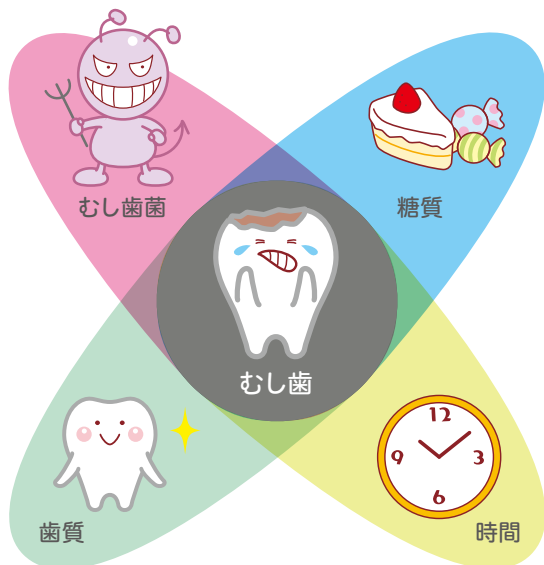
むし歯予防に何をすれば良いかわからない。

## むし歯になりやすい 原因を知って予防する



# むし歯の発生

むし歯の原因は、  
さまざまな要因が絡みあっています。



## リスク因子

- むし歯菌の量が多い
- 唾液が少ない
- 糖質の過剰摂取

## 疾患指標

- 3年以内の歯科治療
- エナメル質病変
- ホワイトスポット

## 防御因子

- 唾液が多い
- 抗菌剤の使用
- フッ化物の応用
- シーラント
- 効果的な食習慣



脱灰 進行

再石灰化 進行停止

脱灰と再石灰化のバランスが崩れると、  
むし歯が発症・進行します。

# 検査の流れ



痛みもありません

## 1 問診と口腔内診査

- 食事の内容と飲食回数
- 毎日の歯磨きの方法
- これまでに治療した歯の数など



## 2 唾液の採取

ガムを噛んで唾液を出してもらいます。



## 3 検査

検査センターでPCR検査を行い、  
細菌を検出します。



## 4 検査結果の確認

わかりやすく表示した検査結果をお届けします。

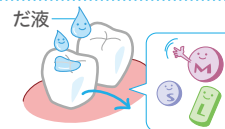


## 検査結果の必要性・重要性

🍷 ミュータンス菌 🍷 ソブリス菌 🍷 ラクトバシルス菌

### 1 デンタルバイオフィーム\* (プラーク細菌叢)

通常、脱灰と再石灰化は平衡状態



### 2 糖の摂取 (リスク因子)

バイオフィームの微小環境が  
酸性へシフト



### 3 むし歯菌の増殖

耐酸性能のある菌 (むし歯菌) が  
選択的に増殖



### 4 検査

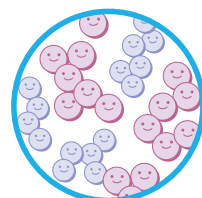
ジーシーサリバチェックラボで  
菌 (むし歯菌) を調べることができます



※食ベカスと口の中の細菌が歯に付着して歯垢 (プラーク) になり、やがて歯プラシ  
で落とせなくなった細菌のかたまりのことをデンタルバイオフィームと呼びます。

## 検査できる菌種

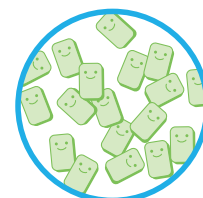
ミュータンスレンサ球菌 (2菌種)



*Streptococcus mutans*

ストレプトコッカス・  
ミュータンス

乳酸桿菌 (にゅうさんかんきん)



*Lactobacillus*

ラクトバシルス

歯を溶かす酸を多く作ります。酸性環境  
でも増えるため、口の中が酸性の時間が  
長いと、ミュータンスレンサ球菌の割合が  
多くなります。また、この2菌種が同時に  
存在すると、う蝕のリスクが高くなります。

う蝕 (特に二次う蝕) から高い  
頻度で検出されます。う蝕の進  
行に関与しており、酸をつくり、  
酸性環境でも増えます。